

## パンフレット<sup>げんこうあん</sup>原稿案<sup>だいにこう</sup>（第二校）について

### ◇ 表紙

みんなで<sup>ささ</sup>支え<sup>あ</sup>合う<sup>い</sup>とともに<sup>とうきょう</sup>生きる東京へ

—<sup>とうきょう</sup>東京都<sup>しょうがい</sup>障害者への<sup>り</sup>理解<sup>かい</sup>促進<sup>そくしん</sup>及び<sup>さ</sup>差別<sup>べつかい</sup>解消<sup>しょう</sup>の<sup>すいしん</sup>推進<sup>かん</sup>に関する<sup>じょうれい</sup>条例—

※テニスをしている<sup>くるま</sup>車いす<sup>じょせい</sup>の女性<sup>はくじょう</sup>、白杖<sup>も</sup>を持っている<sup>しかくしょうがい</sup>視覚障害<sup>だんせい</sup>の男性のイラストがあります。

※おたすけニャンという<sup>ねこ</sup>猫のキャラクターが<sup>みぎて</sup>右手をあげて、<sup>きょうせいしゃかい</sup>共生社会<sup>じつげん</sup>の実現<sup>よ</sup>を呼びかけているイラストがあります。



## ☆ 2 ページ

しょうがい りゆう こま  
障 害を理由に困ったり、悲しい思かないをしなくてすむよう

とうきょうと  
東京都では、平成へいせい30年ねん10月がつに条 例じょうれいを定さだめました。

とうきょうとしょうがいしゃ りかいそくしんおよ さべつかいしょう すいしん かん じょうれい  
「東京都障 害者への理解促進及び差別解 消の推進に関する条 例」です。

じょうれい もと  
この条 例に基づき、様々さまざまな取と組くみをしています。

◇ 3 ページ

しゃかい なか み う  
社会の中に見受けられる差別

わたしたちのまわりでこんなことはありませんか？

※おたすけニャンが望遠鏡ぼうえんきょうを使って、周りまわを見回りみまわしているイラストがあります。

## ◇ 4 ページ

### ● 病院で…

※女子学生が母親と一緒に病院に行きました。女子学生はかばんにヘルプマークを付けています。受付スタッフから「そちらの診察室の前でお待ちになって掲示板に番号が出たらお入りください」と案内されました。待合室にはたくさんの人がいます。女子学生の母親は「ひとがたくさんいるわね」と言いました。女子学生の母親は、受付スタッフに「娘は人が多いとくるしいので、ほかでまわっていてよいですか？」と聞きました。受付スタッフは「でも、離れると順番が来てもわかりませんよ。ここにいてください」と言いました。女子学生の母親は「今日はあきらめましょう」と言って、女子学生と一緒に病院を出ました。

・そちらの診察室の前でお待ちになって掲示板に番号が出たらお入りください。

・人がたくさんいるわね

・娘は人が多いと苦しいので、ほかで待っていてよいですか？

・でも離れられると順番がきてもわかりませんよ。ここにいてください

・今日はあきらめましょう

## ☆ 5 ページ

### ● アパートやマンション<sup>さが</sup>探しで…

※白杖<sup>はくじょう</sup>を使<sup>つか</sup>っている男性<sup>だんせい</sup>が、不動産屋<sup>ふどうさんや</sup>さんにやってきました。男性<sup>だんせい</sup>は「アパートをさがしてるんですが、相談<sup>そうだん</sup>を」と店員<sup>てんいん</sup>に声<sup>こえ</sup>をかけました。店員<sup>てんいん</sup>は「目<sup>め</sup>が不自由<sup>ふじゆう</sup>ですね」とけげんな顔を<sup>かお</sup>しました。男性<sup>だんせい</sup>が「ええ、見え<sup>み</sup>にくいです」と言うと、店員<sup>てんいん</sup>は「そういうかた<sup>かた</sup>の部屋<sup>へや</sup>はないんですよ〜」と言<sup>い</sup>い、「階段<sup>かいだん</sup>とか危<sup>あぶ</sup>ないですし！普通<sup>ふつう</sup>のお部屋<sup>へや</sup>では無理<sup>むり</sup>です…」と手<sup>て</sup>を横<sup>よこ</sup>に振<sup>ふ</sup>りました。

- ・アパートを<sup>さが</sup>探<sup>さが</sup>してるんですが 相談<sup>そうだん</sup>を
- ・目<sup>め</sup>がご不自由<sup>ふじゆう</sup>ですね…
- ・ええ見<sup>み</sup>えにくいです
- ・そういう方<sup>かた</sup>の部屋<sup>へや</sup>はないんですよー
- ・階段<sup>かいだん</sup>とか危<sup>あぶ</sup>ないですし！ふつうのお部屋<sup>へや</sup>では無理<sup>むり</sup>です…

☆ 6 ページ

● 駅で…

※駅で、車いすを使用している女性がいます。女性は「さあ、切符を買っておうちへかえりましょう」と、切符販売機に手を伸ばしましたが、届きません。「あ、つかえて届かないわ、どうしよう」と女性は困り、「だれか…」と周りを見渡しますが、スタスタと歩いていく会社員の人や、イヤホンで音楽をきいている若者などが通り過ぎていき、誰も女性が困っている様子に気づきません。

・さあ切符を買っておうちへ帰りましょう

・あっ つかえて届かないわ どうしよう

・だれか…

スタスタ スタスタ

☆ 7 ページ

● 路上で…

※道で女子学生が何かを探しています。通行人に、身振りで伝えようと思いますが、「いそいでいるので」と言われて断られます。別の女性に行きたいところを伝えようと思いますが、「わからないわ。わたしじゃだめよ」と言われ、困ってしまいます。

• …

• ? 急いでいるので

• わからないわ わたしじゃだめよ



## ☆ 8 ページ

### ● スーパーのレジで…

※スーパーの店員が、「ポイントカードはあたらしくになりました。持っていなければ新しいカードにできます。こちらの紙に書いてください」と、男性のお客さんに伝えました。男性は、「ポイントカード…これかなあ」とカードを取り出しました。男性のかばんにはヘルプマークがついています。

店員は「紙には名前、住所、電話番号を…あれ、名前のほかにも書いてください」と言いました。

男性は「わかりません」と言って、書くことができません。

店員は「住所、電話番号を書いてくれないと、新しいカードは渡せません。じゃあ…また今度」と言いました。そして「次の方お待たせしました」とほかのお客さんにレジ対応をはじめてしまいました。

・ポイントカードは新しくになりました 持っていなければ新しいカードにできます

こちらの紙に書いてください

・ポイントカード…これかなあ

・紙には名前、住所、電話番号を…あれ、名前のほかにも書いてください

・わかりません…

・住所、電話番号を書いてくれないと、新しいカードは渡せません

じゃあ…また今度

・次の方 お待たせしました

## ◇ 9 ページ

だれもがともに生きる社会を目指して定めました

東京都障害者への理解促進及び差別解消の推進に関する条例

東京にいる全ての人が、お互いに、その人らしさを認め合いながら ともに生きる社会を

目指しています。

※おたすけニャンが巻物に拇印を押すイラストがあります。

## ◇ 10ページ

### 条例の3つのポイント

#### 1 障害を理由とした差別をしてはいけません

○行政機関や、事業者（お店など）は、「不当な差別的取扱い」をしてはいけません。

不当な差別的取扱いの禁止とは…

障害のある人に対して、正当な理由なく、障害を理由として、サービスの提供を拒否し

たり、サービスの提供に当たって場所や時間帯を制限したり、障害のない人には付けない

条件をつけることなどをしてはいけません。

例 ・交通で…障害を理由として、バスや電車に乗るのを断ってはいけません。

## ◇ 11 ページ

○<sup>ぎょうせい</sup>行政機関等<sup>かんとう</sup>や、<sup>じぎょうしや</sup>事業者（<sup>みせ</sup>お店など）は、「<sup>ごうりてきはいりよ</sup>合理的配慮の<sup>ていきよう</sup>提供」をしなければなりません。

<sup>ごうりてきはいりよ</sup>合理的配慮の<sup>ていきよう</sup>提供とは…

<sup>しょうがい</sup>障害のある人から、<sup>ひと</sup>社会の中にある<sup>しゃかい</sup>バリア<sup>なか</sup>を取り除いてほしいとの<sup>と</sup>意思<sup>のぞ</sup>が示されたときに、<sup>い</sup>し<sup>しめ</sup>

<sup>ふたん</sup>負担が<sup>おも</sup>重すぎない<sup>はんい</sup>範囲で、その<sup>しょうがい</sup>障害者<sup>しやほんにん</sup>本人に<sup>たいおう</sup>あった対応をすることです。

<sup>ごうりてきはいりよ</sup>合理的配慮の<sup>ていきよう</sup>提供に<sup>あ</sup>当たっては、<sup>しょうがい</sup>障害のある人<sup>ひと</sup>と<sup>じぎょうしや</sup>事業者が<sup>はな</sup>話し合<sup>あ</sup>い、<sup>た</sup>お互い<sup>りかい</sup>に理解

<sup>あ</sup>し合いながら<sup>たいおうあん</sup>ともに<sup>けんとう</sup>対応案を検討することが<sup>じゅうよう</sup>重要です。

例 ・<sup>みせ</sup>お店で…<sup>みんな</sup>みんなの<sup>ところ</sup>いる所<sup>ま</sup>で<sup>ひと</sup>待てない人<sup>べつ</sup>に、<sup>へや</sup>別の<sup>ま</sup>部屋で<sup>ま</sup>待てるようにすること。

※<sup>とうきやうと</sup>東京都は、<sup>くに</sup>国に<sup>さき</sup>先駆けて、<sup>とな</sup>都内の<sup>じぎょうしや</sup>事業者（<sup>みせ</sup>お店など）による「<sup>ごうりてきはいりよ</sup>合理的配慮の<sup>ていきよう</sup>提供」を<sup>ぎむ</sup>義務にしました。

<sup>ほうかいせい</sup>法改正により、<sup>れいわ</sup>令和<sup>ねん</sup>6年<sup>がつ</sup>4月<sup>にち</sup>1日から、<sup>にほんじゅう</sup>日本中<sup>どこ</sup>どこでも、<sup>じぎょうしや</sup>事業者による「<sup>ごうりてきはいりよ</sup>合理的配慮の<sup>ていきよう</sup>提供」

<sup>ぎむ</sup>が義務になりました。

※おたすけニャンのイラストがあります。

## ◇ 12 ページ

じょうれい  
条 例 の 3 つ の ポ イ ン ト

2 こういきしえんそだんいん はいち  
広域支援相談員を配置しています

しょうがいしゃ かぞく じぎょうしゃ みせ  
障 害 者 や そ の 家 族 、 事 業 者 （ お 店 な ど ） から も 相 談 を 受 け て い ま す 。

とうきょうとしょうがいしゃけんりようご こういきしえんそだんいん  
東 京 都 障 害 者 権 利 擁 護 セ ン タ ー （ 広 域 支 援 相 談 員 ）

TEL: 0 3 - 5 3 2 0 - 4 2 2 3 （ 平 日 午 前 9 時 ～ 午 後 5 時 ）

FAX: 0 3 - 5 3 8 8 - 1 4 1 3

メールアドレス：syougaisyakenriyogo@section.metro.tokyo.jp

そうだんうけつけ  
相 談 受 付 フ ォ ー ム ： <https://logoform.jp/form/tmgform/261738>

※QR コードをつける

す くしちょうそん そうだんまどぐち い か とうきょうとふくしきょく  
お 住 ま い の 区 市 町 村 の 相 談 窓 口 は 、 以 下 の と お り 、 東 京 都 福 祉 局 の ホ ー ム ペ ー ジ か ら ご 覧 い  
ただけます。

とうきょうとふくしきょく しょうがいしゃ そうだんまどぐち しょうがい りゆう さべつ かん そうだんまどぐち  
東 京 都 福 祉 局 > 障 害 者 > 相 談 窓 口 > 障 害 を 理 由 と す る 差 別 に 関 す る 相 談 窓 口

## ◇ 13 ページ

### 条例 3 つのポイント

#### 3 問題解決の仕組みがあります

広域支援相談員に相談しても、解決が難しい問題は、調整委員会に相談することができます。

調整委員会は、事案に応じて、あっせん・勧告・公表を行います。

※紛争解決の仕組みをあらわす図があります。

- あっせんとは、調整委員会がそれぞれの事情を聴いて解決を目指すことです。
- 勧告とは、東京都が事業者に対し、必要な対応を求めることです。
- 公表とは、特に悪質な事業者のことを、広く都民に知らせることです。

## ◇ 14ページ

知<sup>し</sup>っておきま<sup>し</sup>ょう 「社会的障<sup>しゃかい</sup>壁<sup>てきしょうへき</sup>と障<sup>しょうがい</sup>害<sup>しゃかい</sup>の社会モデル」

障<sup>しょうがい</sup>害<sup>しゃ</sup>者が日<sup>ひ</sup>ごろ、生活<sup>せいかつ</sup>しにくいと思<sup>おも</sup>うことは、心<sup>こころ</sup>や体<sup>からだ</sup>の障<sup>しょうがい</sup>害<sup>しゃかい</sup>のみでなく、

社会<sup>しゃかい</sup>にも原因<sup>げんいん</sup>となるバリア（社会的障<sup>しゃかい</sup>壁<sup>てきしょうへき</sup>）があるという考<sup>かんが</sup>えを「障<sup>しょうがい</sup>害<sup>しゃかい</sup>の社会モデル」とい

います。東京<sup>とうきょうと</sup>都<sup>と</sup>では、この「障<sup>しょうがい</sup>害<sup>しゃかい</sup>の社会モデル」の考<sup>かんが</sup>えで、条<sup>じょう</sup>例<sup>れい</sup>を定<sup>さだ</sup>めています。

さまざ<sup>ま</sup>なバリア

例<sup>たと</sup>え<sup>おんせい</sup>ば、音<sup>おん</sup>声<sup>せい</sup>のみで、電<sup>でん</sup>車<sup>しゃ</sup>が止<sup>と</sup>ま<sup>し</sup>ったことを知<sup>し</sup>らせても、聴<sup>ちょう</sup>覚<sup>かく</sup>障<sup>しょうがい</sup>害<sup>しゃかい</sup>のある人<sup>ひと</sup>は分<sup>わ</sup>かりませ<sup>な</sup>い。

掲<sup>けい</sup>示<sup>じ</sup>板<sup>ばん</sup>でも伝<sup>でん</sup>え<sup>ん</sup>れば、聴<sup>ちょう</sup>覚<sup>かく</sup>障<sup>しょうがい</sup>害<sup>しゃかい</sup>のある人<sup>ひと</sup>も分<sup>わ</sup>かりま<sup>す</sup>。このよう<sup>よう</sup>にバリアをな<sup>な</sup>くすこと<sup>こと</sup>で、

誰<sup>だれ</sup>もが暮<sup>く</sup>らしやす<sup>す</sup>くなりま<sup>す</sup>。

※車<sup>しゃ</sup>内<sup>ない</sup>で、「事<sup>じ</sup>故<sup>こ</sup>のため運<sup>うん</sup>転<sup>てん</sup>を見<sup>み</sup>合<sup>あ</sup>わせておりま<sup>す</sup>」と伝<sup>つた</sup>えるアナウンスがあり、車<sup>しゃ</sup>内<sup>ない</sup>から

出<sup>で</sup>る男<sup>だん</sup>性<sup>せい</sup>と、状<sup>じょう</sup>況<sup>きやう</sup>が分<sup>わ</sup>か<sup>ら</sup>ない様<sup>よう</sup>子<sup>す</sup>の女<sup>じょ</sup>性<sup>せい</sup>のイラ<sup>い</sup>ス<sup>す</sup>トがあ<sup>あ</sup>りま<sup>す</sup>。

## ◇ 15ページ

しょうがい とくせい おう こと しゅだん ほうほう せんたく  
障 害 の特性に 応じて異なる手段や方法を選択

そのときわたしたちにできる 合理的配慮の提供

※おたすけニャンが 高い本棚から、本を取り出し、車いすを利用する女性に渡して手助け  
しているイラストがあります。

※近くで、すけだち君が 応援しているイラストもあります。



◇ 16ページ

● 病院で…

※女子学生が母親と病院に行きました。女子学生は「今日も混んでいますね」と言いました。

受付スタッフは、心の中で「ヘルプマークをつけた患者さんだわ」と思い、「何かお困りで

すか？」と女子学生に声をかけました。女子学生は、「実は人混みが…苦手です。苦しい」

と言いました。受付スタッフは、「今空いている部屋を使ってください。スタッフがお呼び

します」と個室を案内しました。この様子を見ていたほかの患者は、順番をぬかされた

思い怒りました。しかし、受付スタッフは「順番を抜かされた？あの方も待っているんで

すよ」とその患者に伝え、女子学生に対して「安心してお待ちください。」と伝えました。

・今日も混んでいますね

・ヘルプマークをつけた患者さんだわ

・なにかお困りですか？

・じつは人混みが…苦手です　くるしい

・今あいている部屋を使ってください。　スタッフがお呼びします

・順番を抜かされた？あの方も待ってもらっているんですよ！安心してお待ちください

## ☆ 17ページ

### ● アパートやマンションを探しているとき…

※白杖<sup>はくじょう</sup>をもった男性<sup>だんせい</sup>が、不動産屋<sup>ふどうさんや</sup>を通りかかったところ、バリアフリー物件<sup>ぶっけん</sup>あります、中<sup>なか</sup>へどうぞ！とのチラシがあることに気づ<sup>き</sup>きました。店内<sup>てんない</sup>に入ると、店員<sup>はい</sup>が「お伺<sup>てんいん</sup>いします」  
と言<sup>い</sup>いました。店員<sup>てんいん</sup>は、拡大<sup>かくだい</sup>コピーした物件<sup>ぶっけん</sup>の資料<sup>しりょう</sup>を渡<sup>わた</sup>し、「どうですか？もつと拡大<sup>かくだい</sup>しま  
しょうか？」と言<sup>い</sup>いました。そして、「さっそく、お部屋<sup>へや</sup>を見<sup>み</sup>ますか？チェックしたいこと  
は言<sup>い</sup>ってください。私<sup>わたし</sup>が確認<sup>かくにん</sup>します」<sup>い</sup>と言<sup>い</sup>いました。

- ・おうかがいします
- ・どうですか？もつと拡大<sup>かくだい</sup>しましょうか？
- ・さっそくお部屋<sup>へや</sup>を見<sup>み</sup>ますか？チェックしたいことは言<sup>い</sup>ってください わたしが確認<sup>かくにん</sup>しま  
す

## ☆ 18ページ

### ● えき りよう 駅を利用しているとき…

※ <sup>くるま</sup>車 <sup>いす</sup>いすを使用している女性<sup>じよせい</sup>が切符<sup>きっぷ</sup>を買うための切符販売機<sup>か</sup>に手<sup>て</sup>が伸ばしていたところ、

「お手伝い<sup>てつだ</sup>しましょうか？」と男性<sup>だんせい</sup>が声<sup>こえ</sup>をかけました。「どちらまで？片道<sup>かたみち</sup>で？」と

聞きながら切符<sup>き</sup>を買っていると、駅員<sup>えきいん</sup>がやってきました。駅員<sup>えきいん</sup>は男性<sup>だんせい</sup>に対し、心遣い<sup>こころづか</sup>あり

がとうございます。あとは、私<sup>わたし</sup>がご案内<sup>あんない</sup>いたします」と言いました。男性<sup>だんせい</sup>は「駅員<sup>えきいん</sup>さんだ、

よかった、ではお気<sup>き</sup>をつけて」と女性<sup>じよせい</sup>に言い、改札<sup>かいさつ</sup>に入<sup>はい</sup>っていきました。

・お手伝い<sup>てつだ</sup>しましょうか？

・どちらまで？片道<sup>かたみち</sup>で？

・駅員<sup>えきいん</sup>さんだ よかった ではお気<sup>き</sup>をつけて

・心づかい<sup>こころ</sup>ありがとうございます あとは、わたし<sup>わたし</sup>がご案内<sup>あんない</sup>いたします

◇ 19ページ

● 道で迷っているとき…

※女子学生が道で困っていると、通行人の男性が「何かお困りですか？」と声をかけました。

女子学生は携帯を男性に見せました。男性は「手話はできなくて…都庁？」と言いました。

そして「都庁へ行きたい？」と紙に書いて、女子学生に聞きました。女子学生がうなづくと、

「今ここです。紙に書きましょうね」と地図を描き始めました。

・ なにかお困りですか？

・ 手話はできなくて…都庁？

・ 都庁へ行きたい？

・ 今、ここです。紙に書きましょうね

## ☆ 20ページ

### ● スーパーのレジで…

※店員は男性のお客さんに対し、「ポイントカードを新しくしますか？紙に名前、住所、

電話番号を書いてほしいのですが…なにかわかるものとか」と言いました。男性は、ヘルプ

カードを差し出しました。店員は「ヘルプカード？」と言い、カードを裏返すと、下記に連絡

してくださいと電話番号が書いてありました。「裏に電話番号が書いてあるわ！お店から

電話しますね」と言いました。その後、サービスカウンターで別の店員が、「家族の了解を

もらって、少し代筆もしたから、新しいカードが渡せたわ」と言いました。

・ポイントカードを新しくしますか？

・紙に 名前、住所、電話番号を書いてほしいのですが…

なにかわかるものとか…

・ヘルプカード？

・うらに電話番号が書いてあるわ！ お店から電話しますね

・家族の了解をもらって、すこし代筆もしたから、新しいカードが渡せたわ

## ◇ 21 ページ

### ヘルプマーク

えんじょ ひつよう かた  
援助が必要な方のためのマーク

えんじょ はいりょ ひつよう がいけん かた  
援助や配慮が必要なことが外見からわからない方のためのマークです。

み つ けている方を見かけたら せき み おも こうどう ねが  
身に **着** けている方を見かけたら席をゆずるなど、思いやりのある行動をお願いします。

### ヘルプカード

こま てだす もと  
困ったときに手助けを求めるためのカード

しょうがい かた さいがいじ にちじょうせいかつ なか こま しゅうい ひと てだす もと  
障 害のある方などが、災害時や日常生活の中で困ったとき、周囲の人に手助けを求めるた  
めのカード **です。** れんらくさき てだす か ききないよう そ  
連絡先や手助けしてほしいことなどが書いてあります。記載内容に沿った

しえん ねが  
支援をお願いします。

と あ さき どうきょうと ふくしきょく しょうがいしやし さくすいしんぶ きかく か  
お問い合わせ先：東京都 **福祉局** 障 害 者 施策推進部 **企画課**

電話：03-5321-1111（内線 33－241）

FAX：03-5388-1413

※すけだちくんとおたすけニャンが思いやりのある行動を呼びかけているイラストがあり  
ます。

## ◇ 22ページ

### しょうがい 障害のある人とのコミュニケーションにあたって

#### たいおう きほん かんが かんが ★対応の基本と考え方

あいて じんかく そんげん そんちょう あいて たちば た たいおう  
①相手の人格・尊厳を尊重し、相手の立場に立って対応します。

こま かんが すす こえ  
②困っている方には進んで声をかけます。

たいせつ じゅうなん たいおう こころ  
③コミュニケーションを大切に、柔軟な対応を心がけます。

ことばづか はいりよ  
④言葉遣いやプライバシーにも配慮します。

#### しょうがい ひと せつ たいわ しゅだん ★障害のある人と接するための対話の手段

しょうがいしゃほんにん ほうほう はな ひつよう たと ひつだん しゅわ てんじ よ あ  
・障害者本人にあった方法で話す必要があります。例えば、筆談、手話、点字、読み上げ、

わ ひょうげん お か たが かんが りかい  
分かりやすい表現に置き換えることなどがあります。お互いのことを考えて理解するよ  
うにしましょう。

※おたすけニャンがウインクしているイラストがあります。

## ◇ 23 ページ

みんなで支え合うともに生きる東京へ

東京都の障害者差別解消に向けた取組の紹介

- 東京都障害者差別解消法ハンドブック

障害者差別解消について、理解を深めることができます。

- 障害者差別解消に係る事例集

合理的配慮の好事例集や、広域支援相談員が受けた相談事例集などを作成しています。

- ウェブサイト「ハートシティ東京」

※QRコードをつける ※ハートシティ東京イラストをつける

障害者のことやサポート方法、障害者差別・虐待の相談先を知ることができます。

東京都福祉局のホームページに掲載しています。

東京都福祉局 > 障害者 > 障害者施策 > 障害者差別解消と権利擁護 > 障害者差別解消

に関する普及啓発 ※QRコードをつける



## ◇ 裏表紙

とみん  
都民のみなさまへ

しょうがいしゃ たい  
障害者に対する  
しょうがい りゆう  
障害を理由とした  
さべつ  
差別をなくしていくためには  
ひとり  
一人ひとりが  
しょうがい  
障害のあ  
る人のことを「知らない・分からない」とせず、  
りかい  
理解することが  
たいせつ  
大切です。

とうきょうと  
東京都は、これからも、「みんなで  
さ さ あ  
支え合うとともに生きる  
い  
東京」を目指し、  
め ざ  
障害者差別

かいしょう ふきゅうけいはつ  
解消の普及啓発などに  
と く  
取り組んでいきます。  
とみん  
都民のみなさまも、  
ひ つづ ぐたいてき こうどう  
引き続き具体的に行動し  
ていただきますよう、  
ねが  
お願いします。

と あ さき  
お問い合わせ先

とうきょうと  
東京都  
ふくしきょく  
福祉局  
しょうがいしゃしきくすいしんぶ  
障害者施策推進部  
きかくか  
企画課

〒163-8001 とうきょうとしんじゅくにししんじゅくにちようめ ぼん ごう  
東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

でんわ  
電話：03-5320-4559（ダイヤルイン） FAX：03-5388-1413

れいわがんねん がつはっこう  
令和元年9月発行、  
れいわ ねん がつかいてい  
令和〇年〇月改訂

はっこう  
発行：とうきょうとふくしきょくしょうがいしゃしきくすいしんぶきかくか  
東京都福祉局障害者施策推進部企画課

へんしゅう  
編集・デザイン：かぶしきかいしゃ  
株式会社ドウ・アーバン  
いんさつ  
印刷：●●

※おたすけニャンがハートをもって、きょうせいしゃかい じつげん ねが  
共生社会の実現を願うイラストがあります。